

茨城県衛生研究所における病原体検出情報

— 2013年 11月号 —

1. 検出状況(11月1日～11月30日)

〈茨城県感染症発生動向調査事業に基づく試験検査〉

1) 散发事例

(件数:人)

	臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス	急性脳炎・脳症	ヒトヘルペスウイルス6型									1				1
	麻しん疑い	ヒトヘルペスウイルス6型					1								1

急性脳炎・脳症 ヒトヘルペスウイルス6型:6ヶ月女児の鼻腔ぬぐい液から検出
麻しん疑い ヒトヘルペスウイルス6型:9ヶ月男児の血液から検出

2) 集団(施設や学校等)事例

(件数:人)

	疾患名	検出ウイルス	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス	感染性胃腸炎	ノロウイルスGⅡ*	16	10			1		5	7					39
		アデノウイルス	2		1										3
	インフルエンザ	インフルエンザAH1pdm09											4		4
		インフルエンザAH3		6		6			9						21

* 竜ヶ崎, 土浦, つくば, 筑西, 常総, 古河保健所のノロウイルス検査は土浦保健所が実施

感染性胃腸炎 ノロウイルス GⅡ:水戸(保育園、小学校、病院)、ひたちなか(保育園3カ所、小学校) 鉾田(公共施設)、竜ヶ崎(保育園)、土浦(保育園2カ所)
インフルエンザ アデノウイルス:水戸(病院)、常陸大宮(保育園)
インフルエンザAH1pdm09:常総(小学校)
インフルエンザAH3:ひたちなか(保育園)、日立(小学校)、竜ヶ崎(中学校)

3) 病原体定点依頼検査(小:小児科定点、イ:インフルエンザ定点、眼:眼科定点、基:基幹定点)

(件数:人)

	臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス	小 手足口病	エンテロウイルス属												1	1
	イ インフルエンザ	インフルエンザAH3			1										1
	基 無菌性髄膜炎	エンテロウイルス属							1						1

手足口病 エンテロウイルス属:4歳児の咽頭ぬぐい液から検出
インフルエンザ インフルエンザAH3:50代男性の咽頭ぬぐい液から検出
無菌性髄膜炎 エンテロウイルス属:8歳男児の髄液、血液、咽頭ぬぐい液、糞便から検出

〈食中毒検査〉

1) 食中毒(疑いを含む)

(件数:人)

	疾患名	検出ウイルス	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス	感染性胃腸炎	ノロウイルス GⅡ*	3						3	14	1				21

* 竜ヶ崎, 土浦, つくば, 筑西, 常総, 古河保健所のノロウイルス検査は土浦保健所が実施

感染性胃腸炎 ノロウイルス GⅡ:水戸(飲食店)、竜ヶ崎(飲食店)、土浦(飲食店)、つくば(他県の宿泊施設)

2. 月別検出件数

(件数:人)

臨床診断名	検出ウイルス	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
デング熱・チクングニア熱	デングウイルス 1型								1					1	
	デングウイルス 4型								1					1	
急性脳炎・脳症	A群ロタウイルス	1	1		1									3	
	エンテロウイルス属	1						2		1				4	
	内訳	コクサッキーウイルス B3型	1												1
		コクサッキーウイルスA2型									1				1
		コクサッキーウイルスA6型							1						1
		エコーウイルス25型							1						1
	EBウイルス								1					1	
	ヒトヘルペスウイルス 6型			1	1				3			3	1	9	
	アデノウイルス						1				1			2	
内訳	アデノウイルス 2型									1				1	
	アデノウイルス 6型					1								1	
麻疹	ヒトヘルペスウイルス 6型		1	1	1			1			1	1		6	
	ヒトヘルペスウイルス 7型			1		1								2	
	風疹ウイルス		2	1		1	2							6	
風疹	風疹ウイルス		3	3		1	1				1			9	
	EBウイルス			1										1	
咽頭結膜熱	アデノウイルス							2	1					3	
	内訳	アデノウイルス 2型						1						1	
		アデノウイルス 4型							1	1					2
感染性胃腸炎	ノロウイルス G I		3	6	9	5	4							27	
	ノロウイルス G II	7	9	19	8	8	18	16			3	60		148	
	サポウイルス		3		10	3	3	2						21	
	A群ロタウイルス		5	10	8	5								28	
手足口病	エンテロウイルス属						6	22	5		1	1		35	
	内訳	コクサッキーウイルスA6型					6	21	5		1			33	
		エンテロウイルス71型										1		1	
		型別不能							1					1	
ヘルパンギーナ	エンテロウイルス属							1						1	
	内訳	コクサッキーウイルスB3型						1						1	
インフルエンザ	インフルエンザAH1pdm09	1	1		2	2						4		10	
	インフルエンザAH3	81	34	9		1	4					22		151	
	インフルエンザB	1	2	6			1							10	
流行性角結膜炎	アデノウイルス		1		1									2	
	内訳	アデノウイルス 53型		1										1	
		アデノウイルス 4型				1									1
無菌性髄膜炎	エンテロウイルス属							5	6	5	4	1		21	
	内訳	コクサッキーウイルスA6型							1						1
		コクサッキーウイルスB3型							2	1	2				5
		エコーウイルス18型							2	4	1				7
		エコーウイルス25型								1					1
		エンテロウイルス71型									1				1
		型別不能										1			1
急性呼吸器感染症	RSウイルス	1							2					3	
	内訳	RSウイルス A型	1						2					3	
細菌	レジオネラ症	Legionella pneumophila	1	2										3	

月別検出件数の【補足情報(ウイルス)】

- 急性脳炎・脳症
 - 9月に検出されたエンテロウイルス属は1件がコクサッキーウイルスA2型であった
- 手足口病
 - 10月に検出されたエンテロウイルス属はコクサッキーウイルスA6型であり、
 - 11月に検出されたエンテロウイルス属はエンテロウイルス71型であった
- 無菌性髄膜炎
 - 8月に検出されたエンテロウイルス属のうち、新たに1件がコクサッキーウイルスB3型、3件がエコーウイルス18型、1件がエコーウイルス25型であることが判明した
 - 9月に検出されたエンテロウイルス属はコクサッキーウイルスB3型が2件、エンテロウイルス71型、エコーウイルス18型がそれぞれ1件であった

RSウイルス感染症に注意しましょう！！

RSウイルス感染症は、例年冬期にピークが見られていましたが、2011年以降は7月頃から患者報告数の増加傾向がみられるようになりました。2013年は6月下旬（第25週）から徐々に増加傾向がみられ、特に8月下旬から9月上旬（第34週から第35週）にかけて急激な増加がみられています。



図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況（国立感染症研究所）

<RSウイルス感染症とは>



RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染によって発症する呼吸器感染症です。生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の子供がRSウイルスの初感染を受けるとされています。潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされており、健康な成人の場合軽い風邪様の症状が多いとされますが、乳幼児には重い肺炎を引き起こすこともあります。

重篤な合併症としては、細気管支炎・肺炎以外に、無呼吸、ADH 分泌異常症候群、急性脳症等があります。

<RSウイルスについて>

RSウイルスはパラミクソウイルス科のウイルスでA型とB型の2つに分けられます。国内ではA型が主に流行しているとの情報があります。他の多くのウイルス感染症と異なり、母体由来抗体が豊富に存在する乳児期早期にも感染が成立し発症します。また、ましんやおたふくかぜとは異なり一度の感染では終生免疫は獲得されないため、一生の間再感染を繰り返します。



<RSウイルス感染症を予防しましょう>

RSウイルスは飛沫感染や、感染している人との直接の濃厚接触、間接的な接触感染で感染します。乳幼児への感染を防ぐために、呼吸器症状がある場合は飛沫感染対策としてマスクを着用して接することが大切です。接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるものはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水・石鹼による手洗いをこころがけましょう。



<参考文献> RSウイルス感染症に関するQ&A：厚生労働省

IDWR 注目すべき感染症 RSウイルス感染症：国立感染症研究所